

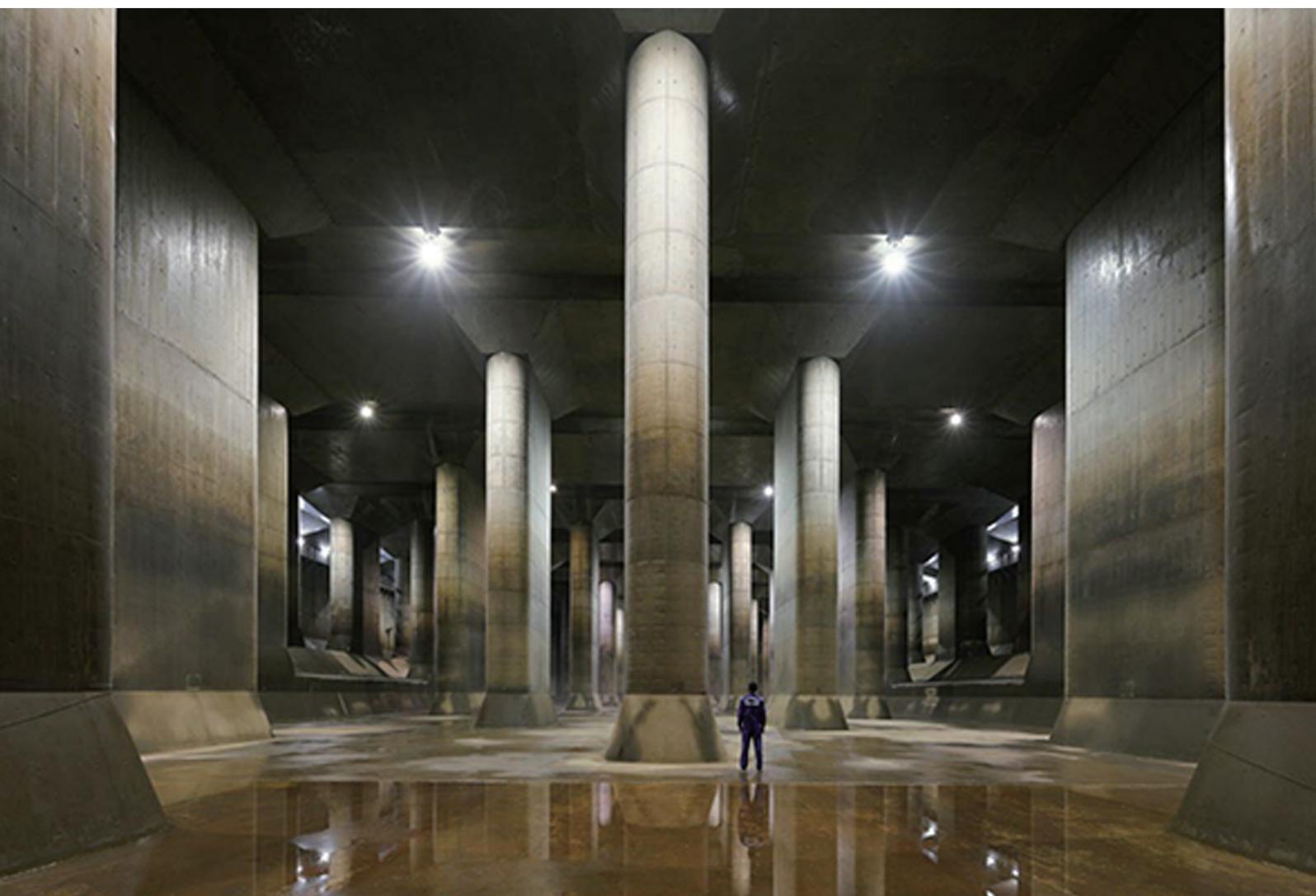
機関誌

埼危連

SAIKIREN

第14号

令和5年8月10日発行



公益社団法人 埼玉県危険物安全協会連合会

発行所：公益社団法人 埼玉県危険物安全協会連合会
埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-5

発行者：会長 有山 佳男
印刷：(株)櫻井印刷所

目 次

ご挨拶 公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会 会長 有山佳男	1
令和5年度通常総会開催	2
埼玉県危険物事故防止連絡会	2
令和5年度埼玉県危険物安全講演会	2
危険物安全功労者表彰	3
埼玉県危険物安全協会連合会会長表彰	3
1 優良危険物事業所	4
2 優良危険物取扱者	4
3 優良普及啓発活動	5
ヒューマンエラー防止対策とリスクアセスメント	
一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会 埼玉支部 労働安全・衛生コンサルタント 中澤 富夫 氏	6
令和4年度 事業報告・決算報告	10
令和4年度事業報告	10
令和4年度決算報告	11
令和5年度 事業計画・収支予算	14
令和5年度事業計画	14
令和5年度収支予算	15
会員名簿	16
役員名簿	17
令和5年度危険物取扱者保安講習のご案内	18
令和5年度危険物取扱者試験準備講習会のご案内	18

表紙写真／彩龍の川「首都圏外郭放水路」の調圧水槽(春日部市上金崎)

首都圏外郭放水路は、洪水を防ぐために建設された世界最大級の地下放水路です。中川、倉松川、大落古利根川、18号水路、幸松川といった中小河川が洪水となった時、洪水の一部をゆとりのある江戸川へと流すことができます。調圧水槽は、地下水路のトンネルから流れてきた水の勢いを弱め、江戸川へスムーズに流すための施設です。



中川・綾瀬川の流域は、利根川や江戸川、荒川といった大きな川に囲まれています。この地域は、土地が低く水がたまりやすいお皿のような地形となっているため、これまで何度も洪水被害を受けてきました。また、川の勾配が緩やかで、水が海まで流れにくいという特徴があり、大雨が降ると水位がなかなか下がりません。さらに近年では、都市化が急速に進み、降った雨が地中にしみこみにくく、雨水が一気に川に流れ込んで洪水が発生しやすくなっています。首都圏外郭放水路の完成によって、周辺地域で浸水する家屋の戸数や面積は大幅に減り、長年洪水に悩まされてきた流域の被害を大きく軽減しました。

(資料提供：国土交通省 関東地方整備局 江戸川河川事務所)

ご 挨拶



公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会 会長 有山 佳男

日ごろ、当連合会の事業の推進につきまして、格別の御支援、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
私は、去る5月17日の通常総会、臨時理事会におきまして、公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会会長に就任いたしました。もとより微力ではありますが、役員一同、全力を尽くす所存でございますので、引き続き御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、ここ数年続いた新型コロナウイルスの感染拡大は、油断はできませんが落ち着きを取り戻しつつあり、社会経済活動の着実な回復が期待されております。

一方で、地震、台風、集中豪雨などによる自然災害や大規模火災、爆発などの痛ましい事故が各地で発生しております。本県におきましても、甚大な被害をもたらした災害が発生しているところであり、日頃から危機を想定した対策を心がけていかなければなりません。

このような中、「民による公益の増進」の一翼を担う公益法人として、災害や事故に備え「自らの安全は自らの手で守る」という自主防災の実現のために、当連合会の果たす役割の重さを強く認識しているところでございます。

特に、私たちの関わる危険物は、経済活動の基盤であり国民生活に不可欠なものです。ひとたび危険物の事故が発生しますと、多くの生命や財産を奪うばかりではなく、周辺地域にも環境汚染等大きな影響を及ぼすおそれがあります。

当連合会におきましては、危険物安全管理思想の普及啓発や危険物取扱者への保安講習、危険物取扱者試験準備講習会などを実施し、防災意識の高揚と危険物取扱者の資質向上を図り、危険物事故の撲滅のため更なる努力を重ねて参る決意でございます。

皆様方には、これまでも増して、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

**意志つなぐ
連携プレーで
事故防ぐ**

(令和5年度危険物安全週間推進標語)



令和5年度通常総会開催

令和5年度の通常総会は、令和5年5月17日、さいたま市中央区のブリランテ武蔵野で開催されました。通常総会及び表彰式に引き続き、新型コロナの影響で実施を見合わせていた意見交換会が四年ぶりに開催されました。

総会では、令和4年度の事業報告及び決算報告である第1号議案及び第2号議案が一括して説明され、特に質問はなく承認されました。(10頁～13頁参照)

また、第3号議案令和5年度会費について及び第4号議案役員補欠選任についても、原案のとおり可決されました。

なお、総会後に行われた理事会で、会長に有山佳男理事、新たな副会長に久保田英治理事が選出されました。新しい体制の役員は、役員名簿(17頁参照)をご覧ください。



埼玉県危険物事故防止連絡会

埼玉県消防課長が座長となり、埼玉連副会長の他、さいたま市消防局長、消防長会各ブロック代表消防長、石油業協同組合及び埼玉県トラック協会で構成される埼玉県危険物事故防止連絡会が、令和5年6月2日に埼玉県危機管理防災センターで開催されました。

会議では、まず、県消防課から埼玉県内の危険物事故発生状況について報告がありました。

埼玉県内の危険物施設数は、令和4年3月末時点で12,132施設となっており、減少傾向にあります。

県内で発生した危険物に係る事故件数は、近年は30件前後で推移していましたが、令和4年

は64件で、平成元年以降、最も多い件数となりました。内訳で、その他事故(主に破損)の件数が増えたのが大きな要因となっています。

過去10年間に県内で発生した危険物施設の事故(371件)を施設別に見ると、給油取扱所(229件)が最も多く、次に一般取扱所(58件)、移動タンク貯蔵所(20件)の順となっています。

事故の発生原因では、過去10年間で最も多いのが物的要因の破損で、主に給油取扱所において顧客の運転操作ミスにより施設の破損や危険物の流出が生じたケースとなっています。人的要因では操作確認不十分が最も多くなっています。

事故防止連絡会では、類似の原因による危険物事故が繰り返し発生していること、そして過去に起きた事故事例には様々な教訓が含まれていることから、県内で発生した事故事例について、事故の原因や対策等を整理し、埼玉県のホームページで紹介しています。

是非、ホームページをご覧ください、事故防止の参考にしてください。

《埼玉県危険物事故防止連絡会》

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0404/kikenbuturenrakukai.html>

令和5年度埼玉県危険物安全講演会

令和5年度埼玉県危険物安全講演会が、埼玉県、危険物事故防止連絡会と当連合会の共催により開催されました。

今年度も昨年度と同様に、埼玉県公式限定公開セミナー動画をYouTubeチャンネルにより6月9日から7月8日の間配信し、開催されました。講師に、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会埼玉支部 労働安全・衛生コンサルタント 中澤 富夫 氏をお迎えし、「ヒューマンエラー防止対策とリスクアセスメント」(6頁参照)と題して動画の配信が行われました。

各協会から会員事業所等に情報提供いただくなど、多くの方々に講演会を御視聴いただきました。ありがとうございました。

危険物安全功労者表彰

令和5年5月17日の当連合会通常総会にあわせて行われた表彰式において、公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会会長表彰及び関東甲信越地区危険物安全協会連合会会長表彰の伝達が、埼玉県危機管理防災部長 犬飼 典久 様のご臨席のもと行われました。

また、このたびの通常総会をもって退任された榎田前会長へ、有山会長から感謝状が贈られました。



有山会長からお一人お一人に対しまして、表彰状・感謝状が手渡されました。表彰された皆様、誠にありがとうございます。また退任された榎田前会長におかれましては、たいへんご苦労様でございました。

令和5年度危険物安全大会は、6月5日、東京都港区のニッショーホールにおいて開催され、危険物保安功労者に対して、消防庁長官表彰及び(一財)全国危険物安全協会理事長表彰が行われました。

令和5年度安全功労者総務大臣表彰の表彰式は、7月18日、総務省において行われました。

それぞれ受賞者は次の方々です。(敬称略)
皆様、たいへんおめでとうございます。



安全功労者総務大臣表彰

越谷市防火安全協会会長 井橋 吉一

消防庁長官表彰

○危険物保安功労者

人間市防火安全協会会長 齊藤 俊明

(一財)全国危険物安全協会理事長表彰

○危険物保安功労者(個人)

新座市防火安全協会会長 並木 重和
所沢市防火安全協会会長 新藤 一美

○優良危険物関係事業所

株式会社トハン 代表取締役 伊藤 純

○感謝状

前(公社)川口市防火安全協会会長 吉澤 利雄

関東甲信越地区危険物安全協会連合会会長表彰

○協会発展と災害防止功労

吉川松伏防火安全協会会長 石綿 勝
杉戸町危険物防火安全協会会長 高舘 武彦
(公社)川口市防火安全協会会長 萱野 高志
(公社)さいたま市防火安全協会副会長 新井 英顯
西入間広域危険物防火安全協会副会長 栗原 武浩
越谷市防火安全協会副会長 浅見 薫
白岡市防火安全協会副会長 川本 一二三
草加市防火協会副会長 高橋 博

○諸設備の充実と安全管理功労

戸田ボートレース企業団
株式会社 飯能第一ホテル
株式会社 金冠堂埼玉工場
株式会社 日新工業製作所

埼玉県危険物安全協会連合会会長表彰

○感謝状

榎田 達治 前埼危連会長

○優良危険物事業所

○優良危険物取扱者

○優良普及啓発活動

} 次ページに続く

埼玉県危険物安全協会連合会会長表彰（続き）

1 優良危険物事業所

危険物施設において、危険物施設の安全管理に努め、他の模範となる事業所

No.	事業所	地域
1	東武バスウエスト株式会社 大宮営業事務所	さいたま市
2	株式会社正和 大宮工場	〃
3	独立行政法人地域医療機能推進機構 さいたま北部医療センター	〃
4	新日本観光株式会社 浦和ゴルフ倶楽部	〃
5	東栄運輸株式会社	〃
6	株式会社トーリク	〃
7	新雪運輸株式会社	川口市
8	株式会社富田商店 朝日町営業所	〃
9	株式会社大和	〃
10	医療法人埼玉成恵会病院	比企地区
11	株式会社リネス 東松山事業部	〃
12	株式会社世美庵	〃
13	三井金属鉱業株式会社銅箔事業部 上尾事業所	上尾伊奈
14	株式会社モリタ東京製作所	〃
15	友和塗料株式会社 埼玉営業所	〃
16	西武鉄道株式会社 小手指車両所小手指車両基地	所沢市
17	株式会社倉本産業 児玉工場	児玉郡市
18	株式会社タムラ製作所 児玉工場	〃
19	三愛オプティクス東日本株式会社 北関東支店本庄営業所	〃
20	関東菱油株式会社 鶴ヶ島駅南店	川越地区
21	株式会社ジェイ・オー・シー羽生	羽生市
22	社会福祉法人埼玉現成会 特別養護老人ホーム敦徳園	飯能地方
23	福山通運株式会社 深谷支店	深谷地区
24	エルピー産業株式会社 埼玉工場	〃
25	出光リテール販売株式会社 セルフ深谷バイパス給油所	〃
26	田部井建設株式会社	熊谷市
27	有限会社東京通商	〃
28	新村印刷株式会社 狭山工場	狭山市
29	株式会社ENEOSフロンティア埼玉直営事業部 Dr.Driveセルフ鴻巣店	鴻巣市
30	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会鴻巣病院	〃
31	株式会社日経首都圏印刷 埼玉工場	〃
32	有限会社アートスクリーン	行田市
33	株式会社栗原商店	〃
34	福田運輸有限会社	〃
35	コーナン商事株式会社 ドイト朝霞店	朝霞市
36	日本開発株式会社	西入間広域
37	國分コンクリート株式会社	〃
38	埼玉みずほ農業協同組合	幸手市
39	株式会社サンワ プリテールせんげん台	越谷市
40	株式会社 北栄運輸	〃
41	三和エナジー株式会社	杉戸町
42	島村鉱油店	春日部市
43	有限会社葛蒲屋	〃
44	有限会社 田中商店	〃

No.	事業所	地域
45	有限会社 中野屋商店	春日部市
46	藤井塗料株式会社	〃
47	朝日自動車株式会社 加須営業所	加須市
48	株式会社ニュー加須	〃
49	ソマール株式会社 草加事業所	草加市
50	加藤石油株式会社 久喜インター給油所	久喜地区
51	株式会社葛蒲石油	〃
52	K O M I N E工業株式会社	〃
53	株式会社TBSラジオ 戸田送信所	戸田市
54	医療法人全和会 つむぎ診療所	秩父
55	株式会社センチュリー セルフ松伏	吉川松伏
56	株式会社セキネ	〃
57	柳下生コン株式会社	和光市
58	市川石油株式会社	三郷市
59	東洋陸送株式会社	〃
60	埼玉日石ホールディングス株式会社	八潮市
61	社会福祉法人杏樹会 特別養護老人ホーム 杏樹苑	入間市
62	株式会社東日本宇佐美東京販売支店 セルフ16号入間SS	〃
63	大同化成工業株式会社 桶川工場	桶川市
64	社会福祉法人 鶴守会 特別養護老人ホーム清光苑	坂戸・鶴ヶ島
65	コスモ石油販売株式会社 セルフ白岡	白岡市
66	南彩農業協同組合 白岡大山支店	〃
67	富士運輸株式会社	日高市

2 優良危険物取扱者

危険物の安全管理について、特に顕著な功労があり、他の模範となる危険物取扱者

No.	氏名	事業所	地域
1	上岡 龍二	株式会社コマツいわつき自動車学校	さいたま市
2	黒須 慎吾	株式会社大宮鍍金工業	〃
3	関 宏行	株式会社 共立グラビア	川口市
4	品田 健	公益財団法人川口市公園緑地公社	〃
5	君島 丈彌	三洋ゴム工業株式会社 川口工場	〃
6	小野澤哲也	東松山自動車学校	比企地区
7	橋本 秀嗣	株式会社トキン工業	〃
8	小野 潤治	NGKケミテック株式会社	所沢市
9	大木 強	東特塗料株式会社本庄工場	児玉郡市
10	新井 剛	朝日工業株式会社埼玉工場	〃
11	山田 健二	山田運送株式会社	〃
12	金子 誠一	山陽化工株式会社 関東工場	羽生市
13	加藤 謙一	東京化成工業株式会社 深谷工場	深谷地区
14	飯野 光男	有限会社飯野運輸倉庫	熊谷市
15	熊谷 周次	埼玉産業開発株式会社 熊谷工場	〃
16	足利 一真	吉田製菓株式会社 狭山工場	狭山市
17	小室 貴	有限会社小室商店	鴻巣市
18	清水 一路	キムラ石油株式会社セルフユースライト古墳	行田市
19	下田 勇作	株式会社内田商店	朝霞市
20	坂本 昌一	有限会社坂本塗装工業	幸手市

No.	氏名	事業所	地域
21	小川 正孝	株式会社ユニバーサル ホテルriCo	越谷市
22	白鳥 安彦	セブンイレブン杉戸下野SS店	杉戸町
23	斉藤 進	斉藤商店	加須市
24	内藤 和男	有限会社内藤石油	〃
25	浜島 正典	楠本化成株式会社 草加工場	草加市
26	長谷川崇悦	長谷川倉庫自動車株式会社	久喜地区
27	萩原 脩	有限会社萩原油店	戸田市
28	後藤 正貴	株式会社ユーディケー	秩父
29	浅見 和孝	有限会社小鹿野運送	〃
30	中野 晃	有限会社中野酒店	〃
31	中村 幸江	株式会社三郷興業	三郷市
32	今竹 宏之	プリンス化成株式会社	〃
33	相馬 晃	東新油脂株式会社 八潮工場	八潮市
34	関根 義昭	株式会社セイコーアドバンス 埼玉工場	蓮田市
35	野澤 直	田島燃料株式会社 日高充填基地	日高市

3 優良普及啓発活動

危険物安全管理思想の啓蒙及び普及において、特に顕著な功労があり、他の模範となる個人、団体又は事業所

No.	個人・団体・事業所	地域
1	社会福祉法人愛弘会就労支援施設 あいこう	さいたま市
2	株式会社ドライテック	〃
3	田中 正博 (ミスマ防災株式会社)	川口市
4	上野 栄 (株式会社筑波産商)	〃
5	理工協産株式会社 川口工場	〃
6	株式会社埼玉りそな銀行 川口支店	〃
7	株式会社 埼玉植物園	〃
8	大和輸送株式会社 大宮支店	上尾伊奈
9	特別養護老人ホーム葺きの里	〃
10	株式会社イナベカーリー	〃
11	学校法人田代学園ミチル幼稚園	所沢市
12	真下建設株式会社	児玉郡市
13	社会福祉法人明正会	〃
14	赤城乳業株式会社 本庄千本さくら『5S』工場	〃
15	児島 雅美	川越地区
16	ドライクリーニングヤング社	〃
17	川越コンクリート工業株式会社	〃
18	株式会社シオノ工業	〃
19	株式会社松本醬油商店	〃
20	サイタ工業株式会社	飯能地方
21	埼玉療育園	深谷地区
22	深谷大里看護専門学校	〃
23	株式会社A&Dマニュファクチャリング 深谷事業所	〃
24	東工業株式会社 妻沼事業所	熊谷市
25	社会医療法人熊谷総合病院	〃
26	株式会社ベスト・トランスポート 埼玉営業所	狭山市
27	西武バス株式会社 狭山営業所	〃
28	有限会社近江商店	鴻巣市

No.	個人・団体・事業所	地域
29	株式会社ケイ・エム・アーツ	朝霞市
30	株式会社精興社 朝霞工場	〃
31	浅川 俊夫 (レストランデニーズ朝霞台店)	〃
32	社会福祉法人 埼玉医療福祉会	西入間広域
33	学校法人城西医療学園 日本医療科学大学	〃
34	株式会社栃木銀行 大袋支店	越谷市
35	株式会社ENEOSフロンティア 埼玉直営事業部 Dr.Driveセルフ高野台店	杉戸町
36	株式会社エネアーク関東	加須市
37	トーエイ物流株式会社 大利根物流センター	〃
38	有限会社有澤商店	草加市
39	斎藤 和彦 (板橋運送株式会社 戸田営業所)	戸田市
40	有限会社擴文社印刷所	秩父
41	さいたま農業協同組合 蕨支店	蕨
42	有限会社ヤマナカ企業	〃
43	株式会社駒崎商会	〃
44	社会福祉法人千曲会 光保育園	新座市
45	医療法人社団慈誠会 介護老人保健施設 新座園	〃
46	社会福祉法人晴智会 晴和苑	〃
47	アサヒボンド工業株式会社	〃
48	山田 実 (山田商事有限会社)	和光市
49	東京信用金庫 志木支店	志木市
50	株式会社 フリード	〃
51	慶應義塾志木高等学校	〃
52	株式会社 志村ホンダ販売	〃
53	ウチヤサーモスタット株式会社	三郷市
54	有限会社鈴家	〃
55	有限会社ますや	〃
56	株式会社三田組	八潮市
57	株式会社エスユーザーサービス 島田自動車	入間東部地区
58	株式会社ENEOSフロンティア 埼玉事業部 Dr.Driveセルフけやき通り店	〃
59	株式会社コモディイイダ 大井店	〃
60	金谷ガス株式会社	〃
61	岩崎工業株式会社	蓮田市
62	アイキ工業株式会社	〃
63	横塚 由宏 (株式会社東光高岳 蓮田事業所)	〃
64	アイビーボウル北本	北本市
65	テクノメタル株式会社 北本工場	〃
66	東彩ガス株式会社 北本事業所	〃
67	日藤ダンボール株式会社	桶川市
68	中野酸工株式会社 桶川営業所	〃
69	日本タック工業株式会社	坂戸・鶴ヶ島
70	T A I R A Y A 川鶴店	〃
71	医療法人ひかり会 パーク病院	白岡市

ヒューマンエラー防止対策とリスクアセスメント

一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会 埼玉支部
労働安全・衛生コンサルタント 中澤 富夫 氏

1. 埼玉県内の危険物事故発生状況(令和4年1月～12月)

埼玉県内の危険物事故は令和4年に64件発生していて、図1に示すように物的要因が41件(64%)と多い。物的要因の多くを占めるのが“破損”に区分されている顧客の「車両の運転操作ミスによるもの」35件(55%)である。“破損”を除いた要因別で見ると人的要因(67%)、物的要因(22%)、その他要因(不明、交通事故：11%)となっている(図2)。破損、人的要因、物的要因の対策が課題である。

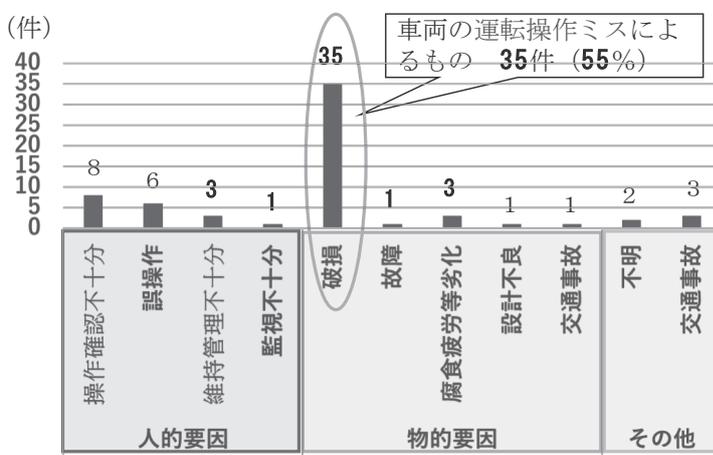


図1.埼玉県内の危険物事故発生状況(令和4年1月～12月)

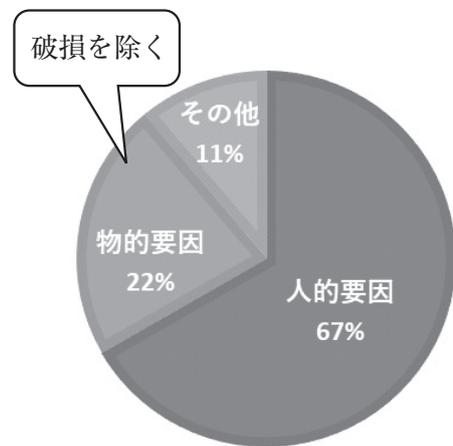


図2.要因別(破損除く)

2. 物的要因と人的要因の災害防止対策

(1) 災害発生シーケンス

災害は、図3.に示すように災害の直接原因(不安全な状態、不安全な行動)を発生するもととなる基本原因(4M)があり、事故、災害に至る。災害防止には、直接原因、基本原因の対策が必要である。

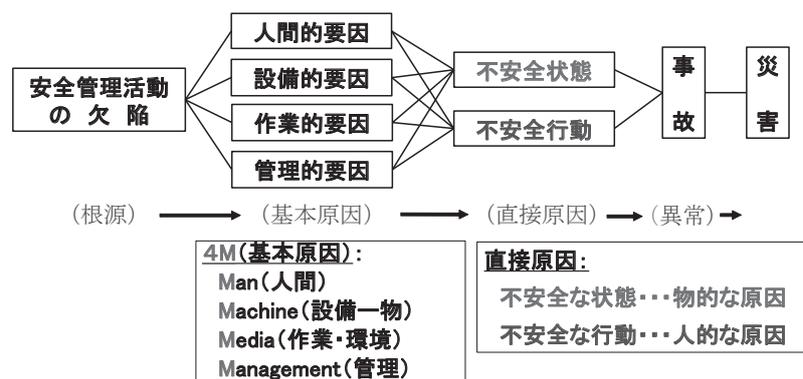


図3.災害発生シーケンス(4Mの手法)

(2) 不安全行動の種類と対策

不安全行動のうち、「知らなかった」「出来なかった」「やらなかった」ことの対策として、それぞれ「知識教育」「技能教育」「態度教育」がある。知識・技術・やる気があるにも関わらず起こしてしまった不安全行動の対策として、ヒューマンエラー対策が必要である。

3. ヒューマンエラー対策

ヒューマンエラー対策は、意図しない失敗(スリップ(うっかりミス)、ラプス(うっかり忘れ)、ミステイク(思い違い)、動作ミス)だけでなく意図的な失敗(違反、リスクテイキング行動)への対策も必要である。4Mの強化と災害防止についての動機づけの対策を実施する。

(1) 4つのMの強化

- ①Man (人間関係)の強化 : 職場の人間関係をよくする。
- ②Machine (機械設備や設備環境)の強化⇒リスクアセスメントで対応する。
設備の本質安全化と人間工学的配慮(使いやすい、間違いにくい)を進める。
- ③Media (仕事のやり方や連絡の方法など)について⇒リスクアセスメントで対応する。
また、危険に気付く仕組みを強化する(作業の中の危険の存在を明確化、安全朝礼など)。
- ④Management (安全管理を進める仕組み)の強化
ヒューマンエラー教育、不安全行動の生理的要因(疲労、睡眠不足、加齢等)、職場的要因等を解決する安全衛生活動をPDCA (Plan計画・Do実施・Check評価・Act改善)のサイクルで実施する。

表1.に不安全行動の心理的要因に対する対策例を示す。

表1. 主な心理的な要因と対策例

要因	内容	対策例
考えごと	作業中に仕事以外の問題(家庭問題等)が意識を占有していて、不安全な行動を行う	日頃から直接の上司が悩みの相談に乗る等の円満な人間関係を築く
周縁的動作	あることを意識の中心で考えながら動作をしているが、途中で日常的な慣習動作を意識の片隅(周縁)で行う	意識外の動作が入ってくることをあらかじめ想定して、危険箇所に柵や囲いなどの防護措置を行う
錯誤	視覚、聴覚、触覚などで発生し、外部の情報正しく取り込めないこと	機械設備や環境を改善する
無意識行動	よく慣れた環境での行動や急いでいる時に周囲の事象を意識して見ていない	誤認による行為が事故・災害に至ることを想定しての安全措置実施や指差し確認を行う
危険感覚	機械設備、作業内容などにどのような危険が潜んでいるかを認識し、あるいは周辺環境に危険を感じるか否か	安全衛生教育、災害事例の検討、KYT(危険予知訓練)等通じて危険感覚を高める
省略行為	ルール無視と横着心から、所定の保護具を使用しない、定められている作業手順を守らない等の行動	集団としての規律性、モラルの高揚、職場の管理監督者のリーダーシップが求められる
慣れ	熟練者の慣れによる異常の見逃し、早合点、手抜き等	安全衛生教育などを通じてルール遵守の徹底、危険感覚の高揚

(2) 災害防止についての動機づけ

- ・災害防止について関心を高め、自主的に安全衛生を考え、実行することが大切である。
- ・問題解決意識の向上を目指し、的確な動機づけを図る。

①外的な動機付け

- 見せる、聞かせる ⇒ ポスター、写真、スライド、映画、DVDなど
- 話す、教える ⇒ 安全訓話、講演、ミーティングなど
- 褒める、いましめる ⇒ 無災害記録賞、改善提案賞、懲戒

②内的な動機付け

- 災害事例 ⇒ ヒヤリ・ハット体験、災害事例
- 自尊心を生かす ⇒ 能力、役割意識

4. リスクアセスメント

(1) リスクアセスメントの目的

- ①全員参加により、職場の危険の芽(リスク)と対策の実情を知る。
- ②災害のリスクを事前にできるだけ取り除くことにより、労働災害のない、快適職場を実現する。

(2) リスクアセスメントの効果

- ①職場のリスクが明確になる。
- ②職場のリスクに関する認識を職場全体で共有できる。
- ③安全対策の優先順位を決められる。
- ④安全対策後の「守るべきこと」の理由が明確になる。
- ⑤全員参加で「安全」の感受性が高まる。

(3) 危険性又は有害性の特定(危険源の特定)

- ①「危険源」に着目する。
- ②「危険源」は、労働者をケガ・疾病に至らせる潜在的根源である。
危険性：機械等、電気・熱等のエネルギー、作業方法、作業場所、作業行動等
有害性：ガス・粉じん等、高温・騒音等

- ③大きな負傷又は疾病を起こしやすい「危険源」を探し出し、それが起因となり、どのような労働災害が発生するか予想する。

(4) リスクの見積り

負傷又は疾病の重篤度と発生の度合いによりリスクを見積もる。重篤度、発生度合いはあらかじめ区分しておく(表2)。

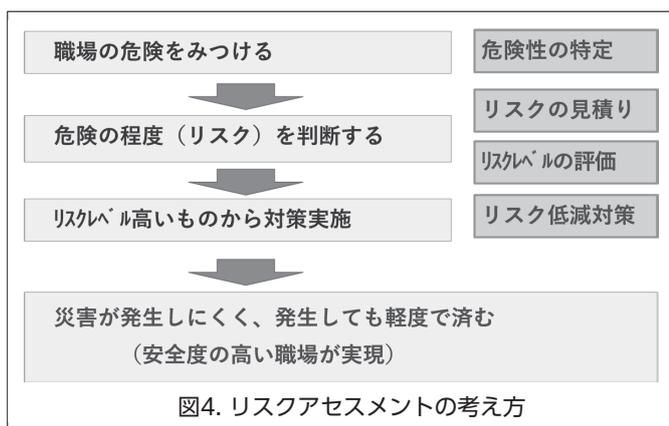


図4. リスクアセスメントの考え方

表2. リスクの見積り(マトリクス法)

可能性の度合		重篤度		
		致命的・重大×	中程度△	軽度○
負傷又は疾病の可能性の度合	高いか、比較的高い×	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ
	可能性がある△	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ
	ほとんどない○	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ

表3. リスクの程度に応じた措置(優先度の決定)

リスクレベル(優先度)	リスクの程度	対応措置
Ⅲ	直ちに解決すべき、又は重大なリスクあり	・措置を講ずるまで作業停止する必要あり ・十分な経営資源を投入する必要あり
Ⅱ	速やかにリスク低減措置を講ずる必要のあるリスクあり	・措置を講ずるまで作業を行わないことが望ましい ・優先的に経営資源を投入する必要
Ⅰ	必要に応じてリスク低減措置を実施すべきリスクあり	・必要に応じてリスク低減措置実施

(5) リスク低減措置の検討

リスクレベルの高いリスクから優先的に低減措置を検討する(表3)。低減措置の検討は、図5の優先順序により危険な作業の廃止・変更等の本質的対策が取れないかを考え、優先度に従い工学的、管理的等の対策を検討する。

(6) リスク低減措置の実施と残留リスク

リスク低減措置実施後に、現状の技術上の制約等によりリスクが残る場合(残留リスク)、これを作業者に周知し必要な場合は暫定措置(保護具着用など)を実施する。

(7) 埼玉県危険物事故事例からのリスクアセスメント実施例

(危険性又は有害性と発生のおそれのある災害)

『顧客が給油をしようとして後進にて進入したところ、車両(軽乗用車)の操作を誤り、固定給油設備のノズル及び収納部周辺に衝突してむち打ち症になる』

⇒措置案は、可能な限り本質的対策や工学的対策を検討する。

低減措置案1

車の動線をわかり易く引いて(視線誘導等)、前進進入を誘導する(白線、視線誘導標等)。

低減措置案2

反射板のついた安全ポールを設置する。

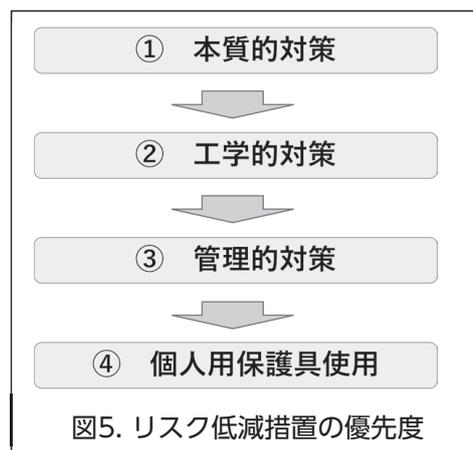


図5. リスク低減措置の優先度

5. まとめ

(1) 危険物事故を低減するために、人的要因、物的要因(破損含む)に対する直接原因対策と基本原因(4M)対策を進めることが有効である。

(2) ヒューマンエラー対策は、4Mの強化と災害防止についての動機づけが重要である。

(3) リスクアセスメントは4Mの強化に有効である。また全員参加で「危険源」を探し出して労働災害発生のプロセスを考えることにより、個人の感受性が高められる。労働災害の実体験の少ない職場にあっても、災害の模擬体験を重ねることにより、内的な動機付けとなる。

(4) ヒューマンエラー対策及びリスクアセスメントを職場の特性、危険源に応じて具体的に展開することにより、災害のない快適職場を目指していただきたい。

〈出典〉

・大関親著「新しい時代の安全管理のすべて」中央労働災害防止協会

・総務省消防庁：リスクアセスメント良好事例集PDFファイル

https://www.fdma.go.jp/relocation/neuter/topics/fieldList4_16/risk_shiryo.html

・厚生労働省ホームページ：「リスクアセスメント等関連資料・教材」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/anzen/anzeneiseil4/index.html

・埼玉県：埼玉県内の危険物事故発生概要

令和4年度 事業報告・決算報告

令和4年度事業報告

(令和4年4月1日から令和5年3月31日)

消防法に基づく危険物に起因する災害防止を目的として、安全管理思想の普及啓発や危険物取扱者の資質向上の促進を図るため、保安講習並びに危険物取扱者試験準備講習会などを実施した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の事業が中止又は実施方法の変更となった。

1 公益目的事業

(1) 普及啓発事業

- | | | |
|---|---------------------|--------------|
| ア | 機関誌「埼玉連」第13号の発行 | 8,500部 |
| イ | 危険物安全講演会の開催(埼玉県と共催) | 講演動画の配信による開催 |
| ウ | 危険物安全ポスターの配布 | 6,570枚 |
| エ | リーフレット | 21,000部 |
| オ | 表彰 | |

危険物の安全管理に努め、他の模範となる事業所などの会長表彰を行うとともに、安全功労者総務大臣表彰などの対象者の推薦を行った。

・連合会会長表彰 169個人・事業所

・総務大臣表彰、消防庁長官表彰、(一財)全国危険物安全協会理事長表彰等への推薦

カ 危険物安全管理思想普及啓発強化助成事業 休止

キ インターネットを活用した普及啓発

連合会の実施事業をホームページに掲載し、危険物安全管理思想の普及啓発に努めた。

(2) 講習等事業

- | | | | |
|---|-------------|-------------|---------------------------|
| ア | 危険物取扱者準備講習会 | 実施回数20回 | 受講者数740人 |
| イ | 危険物取扱者保安講習 | 会場開催実施回数27回 | オンライン実施回数5回
受講者数6,604人 |

2 収益事業

テキスト等販売事業

- | | | |
|---|--------------------------|--------|
| ア | 危険物取扱者試験準備用テキストの販売 | 2,718部 |
| イ | 地下タンク等点検済証の販売(移動貯蔵タンク含む) | 2,155枚 |

3 法人会計

(1) 諸会議の開催

- | | | |
|---|--------------------------|---------------------|
| ア | 総会 | 令和4年5月18日(ブリランテ武蔵野) |
| イ | 理事会 | 5回(うち1回は書面による開催) |
| ウ | 正副会長打合せ会議 | 3回 |
| エ | 監事監査 | |
| オ | 事務局長会議 | 2回 |
| カ | 表彰選考委員会 | |
| キ | 危険物安全管理思想普及啓発強化助成事業選定委員会 | 休止 |
| ク | 会長研修会 | |
| ケ | 事務局長・事務主任者研修会 | 中止 |

(2) 県内関係団体との連携

- | | |
|---|-----------------------|
| ア | 地区協会周年記念式典への参加 |
| イ | 埼玉県消防長会・消防救助技術指導会への参加 |

(3) 埼玉県危険物事故防止連絡会

(4) 他団体との連携

- | | |
|---|-------------------|
| ア | (一財)全国危険物安全協会 |
| イ | 関東甲信越地区危険物安全協会連合会 |

令和4年度決算報告

(令和4年4月1日から令和5年3月31日)

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,269,053	3,670,110	598,943
流動資産合計	4,269,053	3,670,110	598,943
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	16,556,514	16,556,187	327
基本財産合計	16,556,514	16,556,187	327
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	930,580	1,047,970	△ 117,390
周年記念事業引当資産	3,300,000	3,100,000	200,000
事業収入変動引当資産	0	0	0
普及啓発強化引当資産	147,101	147,099	2
特定資産合計	4,377,681	4,295,069	82,612
(3) その他固定資産			
什器備品	0	0	0
減価償却累計額	0	0	0
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	20,934,195	20,851,256	82,939
資産合計	25,203,248	24,521,366	681,882
II 負債の部			
1. 流動負債			
2. 固定負債			
退職給付引当金	930,580	1,047,970	△ 117,390
固定負債合計	930,580	1,047,970	△ 117,390
負債合計	930,580	1,047,970	△ 117,390
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	24,272,668	23,473,396	799,272
(うち基本財産への充当額)	16,556,514	16,556,187	327
(うち特定資産への充当額)	4,377,681	4,295,069	82,612
正味財産合計	24,272,668	23,473,396	799,272
負債及び正味財産合計	25,203,248	24,521,366	681,882

正味財産増減計算書内訳表

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業 等会計	法人会計	合 計
	普及啓発 事業	講習等 事業	小 計	テキスト等 販売事業		
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益					327	327
基本財産受取利息					327	327
特定資産運用益					55	55
特定資産受取利息					55	55
受取会費					3,726,000	3,726,000
受取正会員会費					3,726,000	3,726,000
事業収益		32,745,116	32,745,116	5,013,531		37,758,647
準備講習会事業収益		4,721,300	4,721,300			4,721,300
テキスト販売事業収益				3,975,800		3,975,800
点検済証販売収益				711,150		711,150
保安講習事業収益		28,023,816	28,023,816			28,023,816
全国危険物安全協会受託収益				326,581		326,581
受取補助金等	1,126,100		1,126,100			1,126,100
受取全危協助成金	303,000		303,000			303,000
受取全危協奨励金	823,100		823,100			823,100
受取関危連助成金					0	0
負 担 金					541,500	541,500
研修会等負担金					541,500	541,500
雑収益					3,653	3,653
受取利息					53	53
雑収益					3,600	3,600
経常収益計	1,126,100	32,745,116	33,871,216	5,013,531	4,271,535	43,156,282
(2) 経常費用						
事業費	760,474	18,270,682	19,031,156	3,803,800		22,834,956
防災思想普及啓発事業費	760,474		760,474			760,474
表彰費	219,307		219,307			219,307
事務費	27,401		27,401			27,401
印刷製本費	240,900		240,900			240,900
謝金	90,000		90,000			90,000
旅費交通費	16,041		16,041			16,041
通信運搬費	66,825		66,825			66,825
普及啓発強化助成費	0		0			0
普及啓発協賛金	100,000		100,000			100,000
準備講習会事業費		3,124,455	3,124,455			3,124,455
旅費交通費		240,080	240,080			240,080
事務費		366,410	366,410			366,410
食糧費		99,284	99,284			99,284
賃借料		512,784	512,784			512,784
謝金		1,464,000	1,464,000			1,464,000
賃金		0	0			0
受付事務費		200,540	200,540			200,540
租税公課		241,357	241,357			241,357
保安講習事業費		15,146,227	15,146,227			15,146,227
旅費交通費		424,132	424,132			424,132
事務費		1,475,737	1,475,737			1,475,737
食糧費		178,675	178,675			178,675
賃借料		1,297,990	1,297,990			1,297,990

科 目	公益目的事業会計			収益事業 等会計	法人会計	合 計
	普及啓発 事業	講習等 事業	小 計	テキスト等 販売事業		
謝金		524,000	524,000			524,000
教材費		8,399,184	8,399,184			8,399,184
実施事務費		1,648,300	1,648,300			1,648,300
租税公課		1,198,209	1,198,209			1,198,209
テキスト販売事業費				3,019,097		3,019,097
テキスト購入費				2,218,242		2,218,242
販売協力費				144,700		144,700
賃借料				143,748		143,748
賃金				170,000		170,000
事務費				135,070		135,070
租税公課				207,337		207,337
地下タンク等定期点検促進事業費				784,703		784,703
売りさばき金納付支出				693,000		693,000
事務費				2,365		2,365
旅費交通費				12,741		12,741
謝金				38,400		38,400
租税公課				38,197		38,197
管理費	375,474	15,244,868	15,620,342	1,173,310	2,728,402	19,522,054
事務管理費	375,474	15,244,868	15,620,342	1,173,310	1,262,936	18,056,588
給料手当	253,904	11,854,301	12,108,205	912,622	373,863	13,394,690
退職給付費用	8,886	404,304	413,190	13,328	17,772	444,290
福利厚生費	48,718	2,216,661	2,265,379	97,436	73,077	2,435,892
旅費交通費					62,408	62,408
事務費	20,986	167,885	188,871	20,985	209,856	419,712
賃借料	42,980	601,717	644,697	128,939	85,960	859,596
謝金					220,000	220,000
租税公課					70,000	70,000
交際費					150,000	150,000
会議費					1,165,466	1,165,466
総会費					357,530	357,530
理事会費					133,086	133,086
研修費					674,850	674,850
分担金					300,000	300,000
分担金					300,000	300,000
減価償却費					0	0
経常費用計	1,135,948	33,515,550	34,651,498	4,977,110	2,728,402	42,357,010
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 9,848	△ 770,434	△ 780,282	36,421	1,543,133	799,272
評価損益等計						0
当期経常増減額	△ 9,848	△ 770,434	△ 780,282	36,421	1,543,133	799,272
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						0
(2) 経常外費用						0
当期経常外増減額						0
当期一般正味財産増減額	△ 9,848	△ 770,434	△ 780,282	36,421	1,543,133	799,272
一般正味財産期首残高			7,683,759	10,641,144	5,148,493	23,473,396
一般正味財産期末残高			6,903,477	10,677,565	6,691,626	24,272,668
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額						0
指定正味財産期首残高						0
指定正味財産期末残高						0
III 正味財産期末残高			6,903,477	10,677,565	6,691,626	24,272,668

令和5年度 事業計画・収支予算

令和5年度事業計画

(令和5年4月1日から令和6年3月31日)

1 公益目的事業

(1) 普及啓発事業

危険物に係る安全管理思想の啓発及び普及を図るため、次の事業を行う。

- ア 啓発資料（機関誌）の発行
- イ ホームページによる防災思想の啓発
- ウ 危険物安全管理思想の普及啓発を行う団体への助成
※令和5年度の危険物安全管理思想普及啓発強化助成事業については休止
- エ 優良危険物事業所等の表彰
- オ その他防災思想普及啓発のための事業

(2) 講習等事業

危険物取扱者の資質向上や育成を促進するなど危険物の安全管理体制の確立に寄与するため、次の事業を行う。

- ア 危険物取扱者試験準備講習会事業
 - (ア) 甲種 (3回)
 - (イ) 乙種第4類 (13回、うち1日講習1回)
新たに危険物取扱者試験の直前講習を実施 (1日講習2回)
- イ 危険物取扱者保安講習
 - (ア) 会場における対面講習 給油取扱所 (9回) その他施設 (16回)
 - (イ) オンラインによる講習 給油取扱所 (2回) その他施設 (3回)

2 収益事業

テキスト等販売事業

危険物取扱者試験準備講習会のためのテキスト販売や、地下タンク等定期点検を促進するための点検済証販売などの事業を行う。

- (1) 危険物取扱者試験準備用テキストの販売
- (2) 地下タンク等点検済証の販売

3 法人会計

その他連合会の目的を達成するために必要な事業を行う。

- (1) 諸会議の開催
 - ア 総会・理事会等の開催
 - イ 研修会の開催
- (2) 県内関係団体との緊密な連携
埼玉県、県内各消防本部及び関係団体との連携を密にし、連合会事業の円滑な推進を図る。
- (3) 他団体との連携・協力
 - ア 一般財団法人全国危険物安全協会との連携・協力
 - イ 関東甲信越地区危険物安全協会連合会との連携・協力

令和5年度収支予算

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益			2,000	2,000
基本財産受取利息			2,000	2,000
特定資産運用益			1,000	1,000
特定資産受取利息			1,000	1,000
受取会費			3,692,000	3,692,000
受取正会員会費			3,692,000	3,692,000
事業収益	32,660,000	5,806,000		38,466,000
準備講習会事業収益	6,627,000			6,627,000
テキスト販売事業収益		4,773,000		4,773,000
点検済証販売収益		693,000		693,000
保安講習事業収益	26,033,000			26,033,000
全国危険物安全協会受託収益		340,000		340,000
受取補助金等	1,011,000		10,000	1,021,000
全国危険物安全協会助成金	200,000			200,000
全国危険物安全協会奨励金	811,000			811,000
関危連助成金			10,000	10,000
負担金			2,620,000	2,620,000
研修会等負担金			2,620,000	2,620,000
雑収益			41,000	41,000
受取利息			1,000	1,000
雑収益			40,000	40,000
経常収益	33,671,000	5,806,000	6,366,000	45,843,000
(2) 経常費用				
事業費支出	20,230,000	4,217,000		24,447,000
防災思想普及啓発事業費支出	1,404,000			1,404,000
準備講習会事業費支出	3,492,000			3,492,000
保安講習事業費支出	15,334,000			15,334,000
テキスト販売事業費支出		3,423,000		3,423,000
地下タンク等定期点検促進事業費支出		794,000		794,000
管理費支出	16,141,000	1,218,000	5,535,000	22,894,000
事務管理費	16,141,000	1,218,000	1,590,000	18,949,000
給料手当	12,487,000	946,000	382,000	13,815,000
退職給付費用	419,000	14,000	18,000	451,000
福利厚生費	2,355,000	101,000	76,000	2,532,000
その他事務管理費	880,000	157,000	1,114,000	2,151,000
会議費			3,595,000	3,595,000
分担金			350,000	350,000
減価償却費				0
経常収益計	36,371,000	5,435,000	5,535,000	47,341,000
当期経常増減額	△ 2,700,000	371,000	831,000	△ 1,498,000
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
(2) 経常外費用				
当期経常外増減額				
当期一般正味財産増減額				△ 1,498,000
一般正味財産期首残高				24,272,668
一般正味財産期末残高				22,774,668
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
III 正味財産期末残高				22,774,668

(注) 1.借入金限度額 2,000,000円 2. 債務負担額 958,320円

会 員 名 簿

令和5年8月1日現在

No.	協 会 名	代表者(会員)氏名	〒	所 在 地	電話番号
1	(公社)さいたま市防火安全協会	有 山 佳 男	330-0834	さいたま市大宮区天沼町1-893	048-640-3011
2	(公社)川口市防火安全協会	萱 野 高 志	333-0848	川口市芝下2-1-1	048-261-8375
3	比企地区危険物防火安全協会	金 子 和 義	355-0073	東松山市上野本1300-1	0493-23-2268
4	上尾伊奈防火安全協会	小 川 均	362-0013	上尾市上尾村537	048-775-1314
5	所沢市防火安全協会	新 藤 一 美	359-1118	所沢市けやき台1-13-11	04-2929-9121
6	児玉郡市防火安全協会	入 基 弘	367-0035	本庄市西富田904-3	0495-24-8392
7	川越地区危険物防火安全協会	山 口 佳 郎	350-0823	川越市神明町48-4	049-222-0744
8	羽生市危険物防火安全協会	長 島 清	348-0065	羽生市藤井下組990-1	048-565-1234
9	飯能地方防火安全協会	加 藤 正 幸	357-0015	飯能市小久保291	042-974-7221
10	深谷地区防火安全協会	伊 藤 文 一	366-0029	深谷市上敷免858	048-571-0913
11	熊谷市防火安全協会	加 藤 博 也	360-0811	熊谷市原島675-1	048-501-0118
12	狭山市防火安全協会	角 田 義 明	350-1333	狭山市上奥富1172	04-2953-7113
13	鴻巣市防火安全協会	久 保 田 英 治	365-0062	鴻巣市箕田1638-1	048-597-2005
14	行田市防火安全協会	小 川 貢 三 郎	361-0023	行田市長野4389-1	048-550-2122
15	朝霞市防火安全協会	小 寺 崇 夫	351-0023	朝霞市溝沼1-2-27	048-463-1190
16	西入間広域危険物防火安全協会	麻 原 正 男	350-0441	入間郡毛呂山町岩井2451	049-295-0163
17	幸手市危険物防火安全協会	手 島 幸 成	340-0114	幸手市東4-5-10	0480-42-9118
18	越谷市防火安全協会	井 橋 吉 一	343-0025	越谷市大沢2-10-15	048-974-0103
19	杉戸町危険物防火安全協会	高 館 武 彦	345-0024	北葛飾郡杉戸町堤根4750-1	0480-33-6010
20	春日部市危険物防火安全協会	池 田 勝 明	344-0035	春日部市谷原新田2097-1	048-738-3117
21	加須市危険物防火安全協会	堀 越 正 道	347-0011	加須市北小浜780-1	0480-61-1012
22	草加市防火協会	田 村 研 二	340-0802	八潮市鶴ヶ曾根1185	048-996-0660
23	久喜地区防火安全協会	小 嶋 明 夫	346-0021	久喜市上早見396	0480-21-2712
24	戸田市防火安全協会	中 島 直 人	335-0021	戸田市新曾1875-1	048-420-2125
25	秩父防火安全協会	宮 前 隆 一	368-0021	秩父市下宮地町10-25	0494-21-0121
26	蕨防火協会	渡 邊 和 政	335-0005	蕨市錦町5-1-22	048-441-0174
27	吉川松伏防火安全協会	石 綿 勝	342-0016	吉川市会野谷481	048-982-3919
28	新座市防火安全協会	並 木 重 和	352-0011	新座市野火止2-9-45	048-478-1311
29	和光市防火安全協会	富 岡 健 治	351-0106	和光市広沢1-3	048-461-7850
30	志木市保安防火安全協会	高 橋 英 明	353-0004	志木市本町1-3-1	048-472-0812
31	三郷市防火安全協会	市 川 文 雄	341-0038	三郷市中央5-45-4	048-952-1298
32	八潮市防火安全協会	来 昌 伸	340-0802	八潮市鶴ヶ曾根1185	048-996-0660
33	入間市防火安全協会	齊 藤 俊 明	358-0026	入間市小谷田581	04-2962-7257
34	入間東部地区防火安全協会	大 曾 根 豊	356-0058	ふじみ野市大井中央1-1-19	049-261-6007
35	蓮田市防火安全協会	高 橋 賢 司	349-0133	蓮田市閨戸178-1	048-768-1109
36	北本市防火安全協会	鈴 木 明 男	364-0032	北本市緑3-396	048-592-5005
37	桶川市防火安全協会	青 木 健 志	363-0011	桶川市北1-25-23	048-773-1190
38	坂戸・鶴ヶ島防火安全協会	梅 澤 將 明	350-0221	坂戸市鎌倉町16-16	049-281-3117
39	白岡市防火安全協会	黒 須 大 一 郎	349-0214	白岡市寺塚162-1	0480-92-1502
40	日高市防火安全協会	鎌 田 正 照	357-0015	飯能市小久保291	042-974-7221

役員名簿

令和5年8月1日現在

役職名	氏名	所 属		
		ブロック	所 属	役職名
名誉会長	大野元裕	-	埼玉県	知事
顧問	犬飼典久	-	埼玉県危機管理防災部	部長
顧問	佐藤和央	-	埼玉県危機管理防災部消防課	課長
顧問	松本穂高	-	埼玉県消防長会	会長
顧問	榎田達治	-		埼玉連前会長
会長	有山佳男	1	(公社)さいたま市防火安全協会	会長
副会長	高橋賢司	4	蓮田市防火安全協会	会長
副会長	小寺崇夫	2	朝霞市防火安全協会	会長
副会長	入基弘	3	児玉郡市防火安全協会	会長
副会長	久保田英治	1	鴻巣市防火安全協会	会長
理事	麻原正男	2	西入間広域危険物防火安全協会	会長
理事	長島清	4	羽生市危険物防火安全協会	会長
理事	井橋吉一	4	越谷市防火安全協会	会長
理事	小川均	1	上尾伊奈防火安全協会	会長
理事	伊藤文一	3	深谷地区防火安全協会	会長
理事	小川貢三郎	3	行田市防火安全協会	会長
理事	手島幸成	4	幸手市危険物防火安全協会	会長
理事	齊藤俊明	2	入間市防火安全協会	会長
理事	青木健志	1	桶川市防火安全協会	会長
理事	加藤正幸	2	飯能地方防火安全協会	会長
常務理事	牧光治	-	(公社)埼玉県危険物安全協会連合会	事務局長
監事	鈴木明男	1	北本市防火安全協会	会長
監事	黒須大一郎	4	白岡市防火安全協会	会長
監事	並木重和	2	新座市防火安全協会	会長

令和5年度 危険物取扱者保安講習のご案内（令和5年9月以降）

保安講習受講対象の方は必ず受講してください。なお、講習案内、受講申請書は危険物安全協会、防火安全協会等（消防本部内又は一部消防署内）にあります。受講申込みの際には、免状と埼玉県収入証紙4,700円（受講手数料）が必要です。

会場開催 講習日・講習会場・定員 講習時間：13時～16時10分（12時30分から受付）

種別	講習日	講習会場	定員
給油取扱所	9月14日(木)	熊谷市立文化センター文化会館	500
	9月20日(水)	サンシティ越谷市民小ホール	480
	9月27日(水)	川越西文化会館	340
	11月29日(水)	埼玉会館小ホール	500
	1月25日(木)	埼玉会館小ホール	500
その他の施設	10月18日(水)	川越西文化会館	340
	10月24日(火)	熊谷市立文化センター文化会館	500
	11月9日(木)	朝霞市民会館ゆめばれす中ホール	430
	11月16日(木)	久喜総合文化会館小ホール	300
	11月22日(水)	さいたま市文化センター小ホール	330
	12月14日(木)	埼玉会館小ホール	500
	1月26日(金)	埼玉会館小ホール	500

オンライン 受講開始日・定員等は当連合会ホームページをご覧ください。

各会場とも申込者が定員になり次第締め切ります。お早めにお申し込みください。

令和5年度 危険物取扱者試験準備講習会のご案内（令和5年9月以降）

危険物取扱者試験受験者の予備知識向上のため、次のとおり試験準備講習会を開催します。直前対策として、試験合格の近道だと思っておりますので、奮って受講されるようご案内します。

講習日・講習会場・定員

種別	期別	講習日	講習会場	定員
甲種	2期	8月31日(木)・9月1日(金)	埼玉県県民活動総合センター	60
	3期	2月3日(土)・4日(日)	埼玉県県民活動総合センター	60
乙種第4類	7期	9月6日(水)・7日(木)	川越西文化会館	60
	8期	9月9日(土)・10日(日)	朝霞市産業文化センター	60
	9期	9月30日(土)・10月1日(日)	埼玉県防災学習センター	72
	10期	10月14日(土)・15日(日)	川越西文化会館	60
	11期	11月18日(土)・19日(日)	朝霞市産業文化センター	60
	12期	2月17日(土)・18日(日)	朝霞市産業文化センター	60
	13期	2月25日(日) 1日講習	埼玉県県民活動総合センター	60

※13期は1日の講習です。試験直前講習で以前に準備講習会を受講された方などが対象です。

※この他に試験直前講習として、乙種第4類の1日講習を11月と2月に予定しています。

開催予定月の概ね3か月前に当連合会ホームページに掲載案内を掲示しますのでご確認ください。

申し込み方法等 最寄りの各協会（16ページ「会員名簿」参照）又は当連合会（TEL 048-834-7784 ホームページ <https://www.saikiren2007.or.jp/>）までお問い合わせください。